

葛尾村で8月旧盆需要期出荷に適する小ギク品種

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業
小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証
研究課題名 小ギクの品種適応性の実証(葛尾村)
担当者名 安田貴則、根本知明、江川孝二

I 実証技術の解説

1 要旨

葛尾村の露地小ギク栽培において、季咲き栽培(無電照)では、「秀ありな」、「秀ちはや」、「しゅうきぐも」が、電照栽培では、「精ちぐさ」、「精こまき」が8月旧盆需要期に出荷可能な品種である。

- (1) 季咲き栽培に供試した3品種のうち、「秀ありな」は7月下旬～8月上旬、「秀ちはや」、「しゅうきぐも」は8月上旬～中旬に開花した(表1、図1)。
- (2) 8月旧盆需要期に用いる品種構成の内、「秀ありな」は早生～中生系、「秀ちはや」、「しゅうきぐも」は中生～晩生系として利用可能と思われる。
- (3) 電照栽培に供試した2品種のうち、「精ちぐさ」は7月下旬、「精こまき」は8月上旬～中旬に開花した(表2、図2)。両品種ともに、消灯日を調整することで需要期出荷が可能になると思われる。

2 期待される効果

- (1) 葛尾村における8月旧盆需要期に出荷可能な小ギクの品種構成の参考となる。

3 活用上の留意点

- (1) 本試験は、平成30年に葛尾村(標高490m)で実施した。
- (2) 今年度購入した穂木を使用し、挿し穂は3月26日、定植は5月1日に実施した。
- (3) 季咲き品種を栽培する場合、「秀ありな」、「秀ちはや」、「しゅうきぐも」の開花時期を参考に、早晩性が異なる複数の品種を選定することが望ましい。
- (4) 電照栽培は、白熱灯(みのり電球75W)を22～4時に点灯し、挿し穂～消灯日まで実施した。
- (5) 電照栽培を行う場合、親株からの電照管理が望ましい。

II 具体的データ等

表1 葛尾村における季咲き品種の開花時期(平成30年)

| 品 種 | 採花始期 (月/日) | 採花盛期 (月/日) | 採花終期 (月/日) |
|------------|---------------|---------------|---------------|
| 秀ありな(赤) | 7月27日 | 8月1日 | 8月6日 |
| 秀ちはや(黄) | 8月7日 | 8月11日 | 8月14日 |
| しゅううきぐも(白) | 8月6日 | 8月9日 | 8月12日 |

※採花始期:調査茎の10%、盛期:50%、終期:90%を収穫した日。



図1 季咲き品種の開花盛期前後の様子(左:秀ありな、中:秀ちはや、右:しゅううきぐも)

表2 葛尾村における電照品種の開花時期(平成30年)

| 品 種 | 消灯日 (月/日) | 採花始期 (月/日) | 採花盛期 (月/日) | 採花終期 (月/日) | 到花日数 (日数) |
|---------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 精ちぐさ(赤) | 6月19日 | 7月28日 | 7月30日 | 7月31日 | 41 |
| 精こまき(黄) | 6月8日 | 8月6日 | 8月10日 | 8月13日 | 63 |

※採花始期:調査茎の10%、盛期:50%、終期:90%を収穫した日。

※到花日数は、消灯日から採花盛期までの日数。

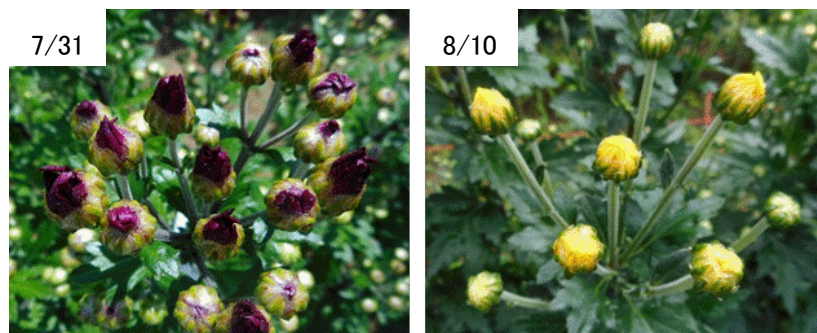


図2 電照品種の開花盛期前後の様子(左:精ちぐさ、右:精こまき)

III その他

1 執筆者

安田貴則

2 実施期間

平成30年度

3 主な参考文献・資料

(1)「需要期安定出荷のための夏秋小ギク電照栽培」(地域再生花き生産コンソーシアム)

(2)平成29年度営農再開実証技術情報「阿武隈地域で8月旧盆需要期に採花可能な小ギク品種(飯館村)」(福島県農業総合センター浜地域農業再生研究センター)